



市子連マーク

大阪市子ども会

いくせい



大阪市子ども会
育成連合協議会

発行者 中山 良明
平成25年11月1日

発行所：大阪府中央区法円坂1-1-35 アネックス・パル法円坂 市子連広報調査部 Tel.6941-1116 Fax.6943-8906

第四十五回指定都市子ども会

ジュニアリーダー大阪大会開催

市子連 副会長 木村 勉

八月一日(木)～八月四日(日)に、北は札幌市、南は熊本市まで総勢百一名(指導者・引率者を含む)参加の指定都市子ども会ジュニアリーダー大阪大会が、信太山野外活動センターで開催されました。

市子連ジュニアリーダー二十一名のスタッフは、この大阪大会を盛り上げる為に、本当に熱い思いで四月より打合せスタッフ会議を行い、毎回一つ一つを大切に仲間との絆を深めながら各自の努力と感性で、具体的な役割とプログラム、タイムスケジュール等を作成しました。

下見実踏を重ねながら、大会準備に取り組んできました。

ジュニアリーダー一人一人の積極的な協力と熱情のもと、笑顔と感動の四日間、大阪大会が成功裏に遂行されました。

笑顔と感動で大きな反響

大会最終日のさよならパーティーでは、心に響く各都市代表の挨拶があり、中でも年少の中学生ジュニアリーダーの締めくくりに言葉に、「自由の中にはルールがあります。これからも規則を守ってジュニアリーダーの活動を続けていきたい」との決意に参加者一同が深い感銘を受けました。
指導者・引率者一同「笑顔は力なり」をかみしめた大会四日間でした。

大阪がキミの〇〇を変える
味わえ大阪!
毎度! おおきに!
いらっしやい



私はこの夏、本当に大きな「思い出」「仲間」そして「つながり」を手に入れました。約十年に一度しか回ってこない貴重なこの大会に、私は実行委員長として参加しました。三泊四日のスケジュール、資材の調達・作成、役割分担などを、他のスタッフたちと協力しひとつひとつこなしてきました。スムーズにいったことなんて本当に少なくて、準備には常に困難がつきまといました。

そんな苦労を乗り越えてきたからこそ、終わったときの達成感は一ひとしおでした。

来年の仙台市へうまくバトンパスできたかどうかはわかりませんが、間違いなく、私たち大阪市スタッフは全員、この大会を通じてひとまわりもふたまわりも、大きく成長することができました。

ジュニアリーダー大会 in 大阪
を終えて

大会実行委員長 西本 脩作

大会運営委員長 川口真季

私にとって指定都市大阪大会は、初の指定都市参加で、初の運営委員長でした。

一日目、各都市の人と顔を合わせ、とても緊張したのを覚えています。ですが、アイスブレイクなどの研修を通して、その緊張もとけていきました。

二日目のメインとなる研修は市内散策です。このプログラムは会議をしている段階から、一番時間をかけていたので、各都市の方から「たのしかった また来たい」と言われてとてもうれしかったです。

三日目は、自衛隊体験やキャンプファイヤーで各都市の方に「大阪らしさ」を届けられたと思います。

そして四日目いよいよ最終日です。ファイナルパーティーでは各都市のみなさんからサプライズがあり、スタッフ一同とてもうれしかったです。みんなで歌った「パンザイ」も忘れられない思い出です。

私はこの四日間で学んだことを次に活かしていこうと思います。



市内散策



大阪市子どもカーニバル2013

「いっしょに遊ぼう」

家族・友だち・楽しい時間

市子連 副会長 進藤斗志代

大阪市子どもカーニバルは、市内の青少年団体などの協力を得て、子ども達の健やかな成長を願い、子ども達が家族や友達と楽しく遊べるように、子ども同士の交流の場として昭和五十四年から大阪市の主催事業として行われています。

四月二十八日(日曜日) 午前十時三十分
に大阪ジュニアバンドの開会ファンファ
ーシを合図に大阪城公園太陽の広場で盛大に
開催されました。

また、カーニバルの開会式では平野区背
戸口西町子ども会の小学六年生岡本悠志
君・服部生奈さん兩名によることも宣言、
市子連鼓笛隊による演奏・演技など主役の
子ども達が一生懸命頑張りました。

会場では、大阪府人形問屋協同組合から
寄贈されたこいのぼりが空高く泳ぐ中、紙
ヒコキチャレンジ・人形劇・クラフトコー
ナー・ゲームコーナーなどの多彩な催しが
行われ、多くの子ども達が集いました。

また、二十四区自慢の模擬店・わんぱく
広場・遊びのコーナー・フリーマーケット
は例年人気があり、交流の場として集う大
阪市子どもカーニバルは、青少年育成のた
めにも、とても意義ある取組であり、一日
中子ども達の笑顔と歓声があふれる大阪城
太陽の広場に、今年も約二万人の来場があ
りました。



【こども宣言】
今日は、こどもカーニバルです
楽しく遊びましょう
みんな集まれ
こどもカーニバル
みんなで
こどもの輪を 広げよう
楽しい時間を 自分力で
お友達を
たくさん作りましょう
ここは 太陽の広場
みんなの笑顔が太陽のように
今日一日
最高の楽しい日にしよう

各区子ども会活動報告



福島区

「福島区民まつり」

広報調査部 金尾

平成二十五年九月二十一日、晴天の下福島公園で開催されました、「福島区民まつり」に参加しました。

当初は市政改革の中、中止も検討されていましたが、区政七十周年の節目ということもあり、踊りやダンスの祭典である、「こいや祭り」との共催というかたちで開催されました。

福島区の子ども会は、各地域から子どもたちが手作りみこしで参加する「子どもみこし」というイベントで毎年区民まつりに参加していましたが、今年からそれがなくなり、これまでの「金魚すくい」と「ヨーヨーすくい」を主とした「子どもコーナー」だけに力を注ぐことになりました。

開始と同時にたくさんの子どもたちが行列を作りました。

「ポイ」と呼ばれる紙で金魚をすくうのですが、この「ポイ」の紙が一番厚いものでしたので、小さな子どもでも金魚をすくうことができ、子どもも大人も楽しそうに声をあげていました。来年も子どもたちの喜ぶ顔を見ることができたらいいなあ、と思っています。

天王寺区

天王寺区子供会育成連合協議会

第十七回天王寺区子供連・ジュニアリーダー研修会を八月四日「ユニトピアささやま」にて行いました。

参加メンバーは、JL（五年・六年）四十四名、大人二十六名、そして今年は大阪U.Sライオンズクラブの方々も一緒に参加していただきました。

日程は朝七時に集合して現地九時三十分到着、昼食はハヤシライスを子供達全員で作りました。

男子はかまどで火の担当、女子はハヤシライスの用意をしました。

班によっていろいろなハヤシライスが出来上りましたが、皆笑顔でモリモリと食べていました。

昼食の後は、全員でスイカ割りをして甘いスイカを食べました。

その後子供達はアスレチックを行い、大人の方々は監視役でついてもらいましたが、子供達の何人かが池にはまり、後でホースで体を洗いましたが、なかなか臭いがとれませんでした。

帰りは田んぼのあぜ道を通って、カエルやバッタと遊びながら帰宅しました。

目的であった野外研修を通して、今後のジュニアリーダー活動を円滑にする為の連帯感を深め、普段あまり触れることのない自然に触れて色々な事を学ぶという事が出来たと思います。短い研修でしたが、JLにとっては、いい体験・思い出になったと思います。



旭区

「旭区子供連五十周年」

広報調査部 山田

旭区子ども会育成連合協議会は地域の皆さま、関係諸団体の皆さまのおかげもあり、昨年五十周年を迎える事ができました。

五十周年の記念として、記念誌の発行と、平成二十五年二月三日に旭区民センターにて「五十周年式典」が開催されました。

式典では「第十三回旭区子ども文化祭」と二部構成で行われ、一部と二部の間に「よしもとクリエイティブ・エージェンシー」から芸人の方に来ていただき、漫才とジャグリングを披露していただきました。会場も笑いに包まれました。

文化祭に出場する子ども達の緊張もほぐれたことと思います。文化祭では新森校下の楽器演奏と歌が優勝し市子連文化祭への切符を手にしました。これからも子ども達の笑顔とともに六十周年に向けて活動していきたいと思っています。



各区の行事予定

区	月	行事内容
福島区	十月	ライオンズ杯
	十一月	福島区子ども会親善秋季キック・ソフト大会
	十二月	子どもの生命と安全を守る講習会
	二月	たこくり講習会
天王寺区	十月十四日	史跡めぐり・写生大会
	十月二十日	低学年 キック・ソフトボール大会
	十一月二十三日	区長杯 キック・ソフトボール大会
	十二月八日	たこ作り教室
旭区	一月	新春書初め大会
	一月十六日	新春たこあげ大会
	二月二十三日	ジュニアリーダー研修
	三月九日	子供運動会・ジュニアリーダー卒業式
天王寺区	十一月	史跡めぐり・写生大会
	十二月	低学年 キック・ソフトボール大会
	一月	たこくり講習会
	二月	子供連合会・ジュニアリーダー卒業式

城東区

おばけ屋敷に貞子が出現?!

区子連会長 谷田宣広

七月の夕方、昼からの雨もあがり、ぬかるむ校庭から子どもたちの悲鳴が聞こえる。

駆け寄ってみると、校舎の二階の教室から聞こえてくる。

真つ暗な階段をゆっくりと進むと、二階の廊下にたたずむ人影がみえる。

東中浜小学校の子ども達であった。

その廊下の先に白く光るものがある。

「ザー・ザー」と音をたてて、砂嵐を映し出しているのは、テレビであった。

教室の入り口に置いてあるテレビは、我々を迎えているように、こちらに向いている。

教室の奥に目をやると、窓際あたりに薄く映された女のシルエットが見える。

白い服に腰あたりにまで伸びた黒髪が不気味で、白すぎる足は裸足だった。

すると子ども達は「貞子だ!」と叫びながらその場から逃げてゆく。

次の教室では、ゾンビが追いかけてくる。

助かったと思った時に、誰かが肩を「トントン」と叩く。振り返るとそこには恐ろしい貞子の姿が・・・

東中浜小学校では、校下での子ども会、PTA、青少年指導委員会、読書読み聞かせGが中心となり、毎年七月におばけ屋敷や、ゲーム、屋台を出している。

入場時にカードを購入すると、そのコーナーでスタンプが押され、数回まで好きな所で遊べる。

大人も童心に帰って『怖い、楽しい』時間を皆と過ごしていた。

大和

大和



西淀川区

大和田連合子ども会 会長 濱口順吉

大和田連合子ども会は平成十六年四月に発足しました。

発足当初は、スタッフも何から何まで初めての事なので、キック・ソフトの練習にしても何から始めたらよいかわからず、無我夢中でスタートした事が、今から思えば懐かしい思い出です。

そんな努力が報われソフト部は平成二十一年に区大会優勝、キック部は平成二十四・二十五年と区大会で二連覇優勝することができました。

また文化部としてダンス部、エイサー部とたちあげ、市こども文化祭では平成二十四年度に準優勝をしました。

リーダー育成事業では、ジュニアリーダー研修生も、子ども会活動や地域行事にもお手伝いしてくれ、今では小学校を卒業したリーダーたちがめきめき力を付けスタッフ並みに活動してくれます。

一昨年から大和田小学校で一月の成人式の後、小学校に戻ってきて「新成人の祝う会」をしています。

新成人たちも大変喜んでいただき、子ども会出身の子どもたちも立派な大人に成長してスタッフの労が報われた一日でもありました。

今後、益々の発展に期待し育成会メンバー一同頑張っていきます。

大和



東住吉区

「創立五十年を迎えて」

東住吉区こども会育成連合会

平素より、東住吉区こども会育成連合会をはじめ、こども会育成活動にご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、東住吉区こども会育成連合会は子ども達の福祉増進、各地域間相互の連絡調整・連携及び地域のこども会の育成指導を図ることを目的に昭和三十八年に発足して以来、平成二十四年度で五十年を迎えることができました。

そこで、東住吉区における各地域こども会及び関係諸団体相互の益々の連携と子ども達の健全育成を図ることを祈念いたしまして、平成二十四年十月二十八日に「東住吉区こども会育成連合会五十周年事業」を大阪市立中野中学校で開催しました。

東田辺メチャハピーズの「南中ソール」や湯里プラスバンドの演奏でオープニングを盛り上げていただいた後、ドッジボール、大声大会、スト

ラックアウト、金魚すくいといった競技部門とフランクフルト、から揚げ、たい焼き、焼き鳥などの模擬店部門に分かれ大々的に開催いたしました。

当日は雨天にもかかわらず、五百名以上もの来場があり、参加した子ども達や保護者の方々が大いに楽しんでいただけたと思います。また、東住吉区の諸団体、各小中学校の関係者のたくさんの方々にご協力いただき、盛況裡に終えることができましたこと心より感謝申し上げます。

東住吉区こども会育成連合会は、これからも子ども達の健全育成の一助となるよう取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後ともお力添えを賜われますようお願い申し上げます。

各区の行事予定

城東区

十一月 たこづくり指導者講習会 城東区民ホール

十一月十九日 第四十回区民新春たこあげ大会 蒲生公園

未定 城東区ミニ・マラソン大会 城北川遊歩道

十二月一日 たこ作り 区民ホール

十二月六日 たこあげ大会 西淀中学校

二月九日 ジュニアリーダー修了式 区民ホール

二月二十三日 区長杯キック・ソフト大会 中央コミュニケーション

東住吉区

十月二十八日 ドッジボール等対抗競技・模擬店 中野中学校

十一月二十五日 ソフト・キックベースボール交流会 白鷺公園運動場

十二月九日 JLCクリスマス会 東田辺小学校

十二月十一日 たこあげまつり 生命と安全を守る事業 白鷺公園運動場



鼓 笛 隊 だ よ り

【鼓笛隊 第十三分隊

神路ジュニアバンド (東成区)

隊長 豊田 恩範

私たち鼓笛隊十三分隊神路ジュニアバンドは昭和五十七年から長きに渡り、東成区を中心に活動しています。

鼓笛隊結成時は神路小学校の生徒がたくさん所属し、練習と活動が活発に行われてきましたが、近年では少子化や他の習い事等の影響もあって隊員が減少していました。

そこで東成区唯一の鼓笛隊を盛り上げる為、他校にも隊員募集を呼びかけ、現在では神路、片江、深江、宝栄と東成区四つの小学校から全十四名在籍しています。



年間行事としては、東成区子供会入

ポーツ大会、鼓笛隊大会、こどもカーニバル、神路小学校のふれあいまつり、敬老会、運動会等のイベントに出演、

今年一月に行われた神路小学校創立百三十周年開会式典ではオープニングと記念タイムカプセル開封のファンファーレを演奏し、出席されていた歴代の校長先生始め新成人の卒業生達にもあたたかい拍手とお褒めの言葉をいただき、式典に華を添えることができました。

これからも隊員一人一人が楽器演奏レベルの目標を掲げ、努力をサポートし、さらに発表の機会も増やしていきたいと考えています。

【鼓笛隊 第十八分隊(西淀川区)

野里子ども会鼓笛隊

隊長 上田 義弘

野里子ども会鼓笛隊は昭和四十三年四月に結成し今年で四十六年目になりました。

全盛期には隊員数は九十人前後いましたが、現在二十人となりました。

ピアノ・キーボード・グロツケン・小太鼓・大太鼓・シンバルによる編成で毎週日曜日に野里小学校の体育館もしくは図工室で練習しています。

年間行事として、春には西淀川区子ども会ソフト・キック入場行進・秋には西淀川区民まつり・野里地域で野里小学校の運動会・敬老の日の集い・冬にはウィンターフェスタ・区長杯卒業

親善入ポーツ大会・夢見月祭 (文化祭)

など市子連行事と、西淀川区地域行事で演奏しています。

一時には存続すら難しくなったこともありましたが、隊員達の演奏の充実により、保護者も鼓笛隊に対する情熱がわいてきました。

これからも子ども達の発表の機会を増やし、更なる展開をしていきたいと思っています。



【鼓笛隊 第二十一分隊(平野区)

第二十一分隊 活動雑感

平野区 吉田 満明

一年くらい前から、「子ども会の歌」「若い力大脱走マーチ」をドラムでつないでメドレーにして演奏しています。選曲は、ヒット曲や子ども達の好きな曲も取り入れてやっています。でも鼓笛隊と言えば行進曲、そして元気よく!

又、五十年続いている歴史、そんな

ことを想って昭和三十年代から四十年の前半によく聴かれた「若い力」を入れてみました。

あの頃の行進曲は全部いいです。古閑裕而や團伊玖磨・伊副部昭にバースタイン。

私達が感じていた時代と音楽の高揚感を少しでも伝えることが出来たらと思います。

先日、鼓笛隊五十周年のお祝いの席で、多くの方がスピーチをされました。それぞれの隊がそれぞれの課題や悩みを抱えているんだなというのが実感です。

子ども達とは毎週三時間、これを何年も続けていると、やはり濃密な付き合いになってくる。子ども会の本体では味わえない心地よさがある。

私たちのようなセカンドグループにも、セカンドの良さや面白さ・楽しさが、とにかく続けることが命題だと思っています。

音楽の楽しさ、育成の楽しさ、鼓笛隊には色々な楽しさがつまっています。ずっと続けてこられた皆さんにはおわかりになりますよね。



第四十回 大阪市各区子ども会対抗親善キックベースボール大会



準優勝
大正区 南恩加島子ども会
キックベースボールクラブ



優勝
鶴見区 榎本連合子供会



第三位
淀川区 新東三国連合子ども会



第二位
住之江区 平林エンジェルズ



鼓笛隊
第十七分隊 鶴見区

優勝 鶴見区

【榎本連合新記録】

榎本連合子供会 合田 好莉

初めてキャプテンになり、フレンド旗・高殿杯・区子連・市子連・知事杯すべて優勝することが出来て、すごく嬉しいです。

去年銀メダルで悔し涙を流した市子連も、今年は金メダルをとって嬉し涙に変わりました。

これからも一つでも多くのメダルが取れるよう、キャプテンとしてがんばります。



第五十一回 大阪市各区子ども会対抗親善ソフトボール大会



準優勝
福島区 海老江西子供会



優勝
東淀川区 豊里連合子ども会



第三位
天王寺区 生魂子ども会



第二位
中央区 玉造バスターズ

市子連初の「二連覇」ができ、本当にうれしいです。どの試合もエラーがなく、打撃もみんながまとまりました。準決勝・決勝とレベルが高いチームと戦いました。相手のピッチャーの球も早く、タイミングが取りづらい中、みんなちゃんとタイミングをとってしっかり打てました。

優勝できたのは、みんながまとまったからだと思います。これからもどの学年にも優勝してほしいです。

優勝 東淀川区
豊里連合子ども会

キャプテン 小西 一路



鼓笛隊
第一分隊 中央区



市子連の今後の予定

十一月十日 秋の鼓笛フェスティバル

一月十七日 新年互礼会

二月十一日 市子連中央研修会

三月三日 なにわのみやホール

三月三日 第三十一回大阪市子ども文化祭

三月二十二日〜二十三日 鶴見区民センター 大ホール

三月二十二日〜二十三日 ジュニア・シニア合同宿泊研修会

伊賀青少年野外活動センター

編集後記

子ども会の行事の多い、春から夏にかけて各区の広報調査部・鼓笛隊の皆様のご協力により「いくせい七十九号」が出来上がりました。指定都市のジュニアリーダー大阪大会に参加した子ども達が、市内散策で楽しそうな顔をしている写真を見ると大成功に終わったのだとうかがえます。

今回は、特に写真を多く記載して、子ども会活動を紹介しています。